



バックナンバー
QRコード



発行：柏市在宅医療・介護多職種連携協議会 啓発・広報部会 編集：柏市保健福祉部地域医療推進課 制作：白玉社 9月・3月年2回発行

今から知っておこう！

家族の視点からひも解く、退院に向けたサポート！！

とつぜん親が入院する事態になった時、退院後を見越してサポートするのは難しいことです。今号は、退院後の「これからどうしたらいいんだろう」という不安を最小限にするために、親の支え方についてご紹介します。



わがやストーリー

柏市内に住むK子さんは、夫と娘と息子の4人暮らし。子育てや仕事で忙しい日々を過ごしています。

K子さん
(42歳)

夫
(45歳)

母
(68歳)

父
(71歳)

息子
(6歳)

娘
(10歳)

ある日の夜、家族で過ごしているときに市内に住む母から、父のことで電話がかかってきて…

1 もしもし、お母さん どうしたの？

2 お父さん、脳梗塞で倒れて入院しちゃったのよ

えっ！！ 大丈夫??

3 お母さん、先生に呼ばれて話を聞きに今から病院に行く。K子も時間があるときに様子を見に行っておいて

うん、わかった お母さんも無理しないでね

4 -2週間後

わがや総合病院

5 担当看護師

病状も落ち着き、リハビリも順調に経過しているので、そろそろ退院の準備をしましょう

退院後の生活をご本人とご家族で相談していただき、ご希望があれば教えてください

ーって、話があったんだけどお母さん、この先の生活のこと、いろいろ不安で…

希望って言うってもねえ…

6 うん そうだよな 今後のこと、私も一緒に考えるよ 今度、家族で話ししよう

ありがとう、心強いわ じゃあ また連絡するね

7 こういう時って まず何をやるの？

夫も私も仕事や家事、育児もあるし…

相談できる ところってある？

母一人に任せるわけにも いかないし… もし母まで倒れたら大変…

私にできる ことは…？

「ご家族の希望」と言われても、何を伝えたらいいのかわからないK子さん一家。想像がつかないって不安だよ。こんな時どうしたらいいかを裏面で紹介するよ！

※ コロナ禍の感染予防対策により、患者や医療職との対面での面会や各種説明・相談の方法は、病院ごとにルール（面会制限、電話等での説明、タブレット等の活用など）があるので、ご確認いただきながら必要なコミュニケーションを取りましょう。



できることから
始めよう！

いつもの生活に「ちょっとしたプラス^{アルファ}α」が 大きな支えになるんです！

親の想いを聞く



時間を取って、家族に話を聞いてみましょう。退院前に不安に思っていることを一緒に確認するのも、心強いサポートです。

医師などの話を一緒に聞く



退院後の生活を一緒に想像してみて、具体的なイメージができないことや、本人や家族の希望が叶えられるかを医師などの専門家に相談してみましょう。

空き時間に情報収集をする



介護保険や親の住所地を担当している地域包括支援センターなど、必要な制度や仕組みについて情報収集してみましょう。相談先で聞いた内容も調べながら、親の希望や思いなどを整理していけるといいですね。



ひとりで抱え込まないで…

頼れる相談先は、こんなにあるよ！

「家族だから…」と頑張りすぎると、辛くなってしまうことも。「自分たちだけでは解決できない」「ちょっと誰かに話を聞いて欲しい」そんな時は、相談窓口を上手に頼ってください。必要に応じて相談先同士が連携し、あなたや家族をサポートします！

病院に入院中や外来通院中なら…

病院の医療 ソーシャルワーカー (通称：医療相談員)

退院後の生活イメージがつかないことへの不安や解決に必要なことを整理していくため、病院で働く医療相談員をぜひ活用ください。医療相談員は、傷病による生活上の困り事を社会保障制度や地域資源をご案内しながら、暮らしやすい方法を一緒に考えるお手伝いをします。暮らしの中で大事にしていたことやご自身の対処法を大切にしながら、よりよい生活準備のための協力をいたします！

《柏市立柏病院 地域医療支援センター》

※病院：ベッド数が20床以上の医療機関

病院への通院が難しいと感じる時など…

かかりつけ医

急な病気で入院した後、以前とは違う状態で退院になる事も少なくありません。入院した病院に通院が難しいと感じた時は、普段からよく知っているかかりつけ医に相談してみてください。かかりつけ医（往診医）が往診をしたり、必要時に他の往診医を紹介してもらうなど、自宅療養に必要な医療的アドバイスもできます。柏市ではそういった医師同士の連携がすすんでいますよ！

《東洋眼科・胃腸内科・外科 石橋院長》

※診療所：入院施設がない、もしくはベッド数が19床以下の医療機関

何をどこに相談したらいいのかわからないなら…

地域包括支援センター

みなさんの「初めての相談」を受け止めることが多いセンターです。地域にお住いの高齢者やそのご家族の「健康」と「安心安全」を守るため、街中に相談窓口を設けています。一緒に困りごとを整理しましょう。必要に応じて病院の医療相談員やケアマネジャーとも連携し、介護認定申請受付や関係機関に取り次ぐお手伝いもしています！

《北柏地域包括支援センター》

地域包括支援センターは市内13か所
土曜日も相談受付中です。
QRコードからHPにアクセスできます



K子さんの感想

急な親の入退院時に、何から取り組んでいいか不安になったけど、普段のコミュニケーションが支えになると分かって、安心しました。夫や子どもにも協力してもらいながら、私たちにできることで、親を支えていこうと思います。そして、退院前の準備に頼れる相談先や相談窓口を知っていれば、将来的にも在宅医療を考えるとときのベースになりそう！

information

? わがや質問箱!



Q 他市に比べて、柏はここを頑張っている!というところは、どこですか?

A 在宅医療の医療・介護連携が円滑に進むよう、全国に先駆けて取り組んできました。実はWHO(世界保健機関)も視察に来たことがあるんですよ!

「わがや質問箱」では、みなさんからの在宅医療・介護についての質問をお受けしています。応募方法は右記をご覧ください。

わがやクイズ!

「ちょっとした〇〇〇〇」
が大きな支えになるんです!

ヒント できることから始めよう!

正解者の中から抽選で10名様に図書カード500円分をプレゼントします。右記の応募方法の必要事項をご記入のうえ、お送りください。

*当選者の発表は、商品の発送をもってかえさせていただきます。

質問箱・クイズの応募方法

①～⑧の必要事項をご記入のうえ郵送、Eメールのいずれかで応募ください。

①氏名 ②住所 ③年齢 ④クイズの答え ⑤質問箱への質問 ⑥「わがや」の感想 ⑦「わがや」で取り上げてほしいテーマ ⑧「わがや」をどこで知りましたか?

(例：ポストに入っていたチラシ等)

【締切】令和4年4月28日(木) 必着

*在宅医療に関する個別の相談は、
柏地域医療連携センター(TEL:04-7197-1510)まで

【応募先】
柏市保健福祉部 地域医療推進課
〒277-0845 柏市豊四季台1-1-118
E-mail:wagaya@city.kashiwa.chiba.jp